

東京国立 博物館 ニュース

展示と催し物案内
第766号

2021

9・10・11



表紙の名品
絳絲紅地牡丹
龍鳳凰花鳥鹿文様

特別展&特別企画 Information

「マレーシア・イスラーム 美術館精選 特別企画」イスラーム王朝とムスリムの世界」

「伝教大師1200年 大遠忌記念 特別展」最澄と天台宗のすべて」

「特別展 ポンペイ」

「ユネスコ無形文化遺産 特別展」体感! 日本の伝統芸能

—— 歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界——」…… 2~3

博物館でアジアの旅「空想動物園」…… 4

「特集 浅草寺のみほとけ」「特集 令和2年度新収品」…… 5

総合文化展Pick Up!(本館/東洋館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館)…… 6~7/トーハクの調査研究⑬…… 7

本館展示案内(2階:日本美術の流れ、1階:ジャンル別展示)…… 8~11/本号のトピック…… 11

みどりのライオン(教育普及事業)…… 12/スクールプログラム/春夏秋冬/フォーシーズンズ 乃木坂46…… 13

イベント&インフォメーション…… 14~15

裏表紙に
掲載してるほ!

TNM

マレーシア・イスラーム美術館精選 特別企画

「イスラーム王朝と
ムスリムの世界」

東洋館12・13室 7月6日(火)～2022年2月20日(日)

イスラーム教は、7世紀にアラブ人のムハンマドによって創始されたのち、西アジアばかりでなく、ヨーロッパ、北アフリカ、中央アジア、南アジア、東南アジア、東アジアへと広がりました。イスラーム教を受容した世界各地では、多くのイスラーム王朝が交替して、各地の文化を融合させた独自の文化を展開しました。イスラーム世界の主要都市では輸入品を扱う市場が開かれ、ムスリム世界はもちろんヨーロッパの各地からの優れた工芸品が溢れていました。商人は、まずスルタンや宮廷を訪れて贅を凝らした品々を披露して、その後、一般の市場で販売しました。このオスマン朝の木製小箱は螺鈿や玳瑁、象牙の象嵌などで装飾された優美な作品で、貴重品を保管するために施錠できるようにしています。北アフリカあるいはスペインの宮廷で女官が用いた宝石箱と思われます。画家エルンストがイスラーム世界を異国情緒豊かに描いた油彩画にも同様な宝石箱が見られます。(猪熊兼樹)

羊毛を紡ぐ人

ルドルフ・エルンスト
(1854～1932) 作
オーストリア 19世紀
マレーシア・イスラーム
美術館蔵

スペインや北アフリカの
イスラーム世界を描いた
油彩画です



螺鈿箱

トルコ 18世紀 マレーシア・イスラーム美術館蔵
どのような宝石が入っていたのでしょうか

観覧料：総合文化展料金でご覧いただけます。 展覧会サイト https://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=2109

伝教大師1200年大遠忌記念 特別展

「最澄と天台宗のすべて」

平成館特別展示室 10月12日(火)～11月21日(日)

日本の歴史、文化に大きな影響を与えた天台宗。その開祖・伝教大師最澄の1200年大遠忌を記念して行う本展については、すでに博物館ニュース3・4・5月号、6・7・8月号において、秘仏の公開や、江戸時代の天台宗に焦点を当てるなどの見どころをご紹介してきました。

今回は、豊麗な彩色が美しい、11世紀の高僧像の名品である「聖徳太子及び天台高僧像」をご紹介します。これはインド、中国、日本における天台宗にかかわる9人の祖師に、日本で初めて法華経を広め、天台大師の師匠である南岳大師慧思の生まれ変わりとなされた聖徳太子を加えた10名を、1人1幅に描いたものです。10幅揃っての展示は滅多にありません。今回は大遠忌の特別な機会として6日間だけ全10幅が一堂に会します。(沖松健次郎)



●聖徳太子及び天台高僧像
十幅のうち 聖徳太子

平安時代・11世紀 兵庫・一乗寺蔵
展示期間：11月2日(火)～11月21日(日)
法華経を縁として、天台宗にかかわりがあるとされた聖徳太子



●聖徳太子及び天台高僧像
十幅のうち 慧思

平安時代・11世紀 兵庫・一乗寺蔵
展示期間：11月2日(火)～11月21日(日)
中国の南岳衡山で活動し、法華経の教えを広めました。聖徳太子の前世とされています

国宝 聖徳太子及び天台高僧像 展示期間

通期：慧文・灌頂

10月12日(火)～11月7日(日)：最澄・円仁・龍樹・善無畏

11月2日(火)～11月21日(日)：智顗・慧思・湛然・聖徳太子

※11月2日(火)～11月7日(日)のみ全10幅展示

観覧料：前売日時指定券＝一般2,100円、大学生1,300円、高校生900円
当日券＝一般2,200円、大学生1,400円、高校生1,000円
展覧会公式サイト <https://saicho2021-2022.jp/>

本展は事前予約制(日時指定券)を導入します。「前売日時指定券」、「当日券」の詳細は今後展覧会公式サイト等でお知らせします。※ご来館時、「当日券」は販売終了している可能性があります。

特別展

「ポンペイ」

平成館特別展示室 2022年1月14日(金)～4月3日(日)

紀元後79年、イタリアのナポリ近郊のヴェスヴィオ山で大規模な噴火が発生、ローマ帝国の植民市であったポンペイが火山噴出物に飲み込まれました。火山灰で埋没した古代の居住地には、当時の人々の生活空間と家財がそのまま封印されています。この「タイムカプセル」の中身を解き明かすべく、ポンペイでは18世紀から現在に至るまで発掘が続いています。本展覧会では、壁画、彫像、工芸品の傑作から、豪華な食器、調理具、職人たちの道具といった日用品にいたる様々な発掘品を展示。古代ローマの都市の様子と、市民の豊かな生活をよみがえらせます。

ポンペイ遺跡で出土した膨大な遺物を収蔵するのが、ナポリ国立考古学博物館です。同館と当館は学術交流協定を結び、その全面的な協力のもと、本展が実現しました。日伊の関係者が一体となり、パンデミックにも負けず、「ポンペイ展の決定版」をスローガンに準備を進めてきた特別展です。ご期待ください。(小野塚拓造)



2017年の予備調査での一コマ。日伊の関係者でポンペイ遺跡を視察し、展覧会について意見交換をしました



バックス(ディオニュソス)とヴェスヴィオ山

ポンペイ出土 ナポリ国立考古学博物館蔵
79年の大噴火前のヴェスヴィオ山を背に酒の神バックスが立っています



パン

ポンペイ出土
ナポリ国立考古学博物館蔵
ポンペイの壁画に描かれているパンと同じものが実際に出土しています

ユネスコ無形文化遺産 特別展

「体感！日本の伝統芸能」

歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界

表慶館 2022年1月上旬～3月(予定)

本展は、ユネスコ無形文化遺産一覧に登録された日本の伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、雅楽、組踊)を一堂に集め、それぞれの芸能が持つ固有の美とそれを支える「わざ」を紹介します。本展は2020年春開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となったため、内容を一部リニューアルして2022年1月から開催することになりました。

展示室内には、各芸能の舞台装置(大道具)を原寸大に近い大きさで再現し、代表的な演目の舞台空間を実演家の視線で体感していただけます。また、それぞれの芸能で用いられる装束(衣裳)、楽器、小道具などを展示し、客席からは見えない部分の意匠(デザイン)に込められた日本人の美意識、特に花鳥風月といった自然との関わりを間近で味わっていただけます。各展示室では東京、大阪、沖縄の国立劇場各館で上演された舞台の貴重な映像を上映し、本展で紹介する芸能の実際の舞台映像もご覧いただく予定です。日本を代表する5つの伝統芸能の世界をまるごと体感できる史上初の展覧会をぜひお楽しみください。



能舞台

2020年開催準備時の様子

各芸能の再現舞台では実際の舞台空間にいるような臨場感を体感できます



文楽人形の首 文七 国立劇場蔵

太い眉に強い意志の宿る目、一文字に結んだ口元が特徴的。男役を代表する首です

錦絵「名優四君子(菅原伝授手習鑑)」

豊原国周筆 明治27年(1894) 国立劇場蔵

『菅原伝授手習鑑』『車引』の役に当時活躍した歌舞伎役者を配した作品です



東洋館9室

ド派手にロックオン!

とうてつしっぽうゆう
饗養七宝缶

中国 清時代・19世紀
神谷伝兵衛氏寄贈

古代の青銅器にならって清時代に製作された
七宝の器物。饗養という怪獣が目玉をギラン
と輝かせています



東洋館11室

いつでも話を聞くゾウ

ガネーシャ坐像

カンボジア・ブッタのテラス北側
アンコール時代・12～13世紀 フランス極東学院交換品

象の頭に人間のからだを持つガネーシャは、富と知恵をつかさ
どるヒンドゥー教の神。ふくらんだお腹がチャームポイントです

東洋館3室

最強同士のガチコラボ

グリフィン像 飾板

前4世紀 イタリア、タラント出土
谷村敬介氏寄贈

ライオンとワシの属性をあわせもつ「最強生物」で
あるグリフィンを表現し、護符として棺に取りつけ
た装飾板です



調査ノートを手帳に、
気分は研究員だほ!

この他にも
作品があるほー!

期間中、東洋館
インフォメーションで
「博物館でアジアの旅
2021 調査ノート」を
配布予定です!



博物館でアジアの旅

空想動物園

毎年恒例の「博物館でアジアの旅」、
今年は「空想動物園」がテーマです。

アジア各地で生まれた空想上の動物たちが、個性豊かな姿で
東洋館のあちらこちらに現れます。
それらを探す旅をしながら、空想上の動物たちに込められた
人々のメッセージに思いをはせてみませんか。

9月14日(火)～10月17日(日) 東洋館

東洋館4室

ナゾの ずんぐり生物

せきしょうかいしゅう
石彫怪獣

殷時代・前13～前11世紀
伝中国河南省安陽市殷墟出土

当館屈指の謎の生物です。殷という古代
王朝の王墓に用いられていた可能性が
あります



東洋館5室

あなたのもとへ ツーリング

せんじん き しょうしゅうはちりょうきょう
仙人騎鳥獣八稜鏡

中国 唐時代・8世紀

仙人あるいは道士が麒麟や鳳凰などに
乗って空を駆けています。この鏡の持ち
主に幸せを届けにきたのでしょうか

東洋館5室

ツボから 飛び出る5秒前

せい か りゅうとうもんつぽ
青花龍濤文壺

中国・景德鎮窯 元時代・14世紀

細身のからだをダイナミックにくねらせて
いまにも飛び出してきそうな四爪の龍。
元時代ならではの精確な表現も必見です



(部分)

特集 浅草寺のみほとけ

本館14室 9月28日(火)～12月19日(日)

雷門でおなじみの浅草寺は、推古天皇36年(628)、隅田川にあらわれた観音菩薩像を本尊として開創され、「浅草観音」として親しまれています。現在は聖観音宗ですが、中世には天台寺院として発展するなかで、数々の寺宝が伝来しています。

本特集では、本坊である伝法院護摩堂の不動明王立像をはじめ、公開の機会が少ない仏像13件17体を一堂に展示します。なかには度重なる災禍から守り伝えられた仏像も少なくありません。また、戦後に寄進されたなかにも注目すべき仏像が含まれることが、近年実施された寺内の文化財調査で判明しました。いずれも浅草寺の歴史を物語る貴重な遺品です。(西木政統)

躍動感あふれる体軀と華麗な装飾に注目

四天王立像のうち多聞天

鎌倉時代・13世紀 東京・浅草寺蔵
体の色と体勢から、東大寺大仏殿の四天王像を模したことがわかります



浅草寺屈指の古像

不動明王立像

平安時代・12世紀 東京・浅草寺蔵
怒りを抑えた気品のある表情は、都風を伝えています。本作品は東京都指定文化財にもなっています

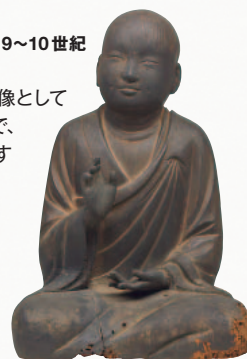


かわいらしい両頬のえくぼ

僧形坐像

中国 唐～五代十国時代・9～10世紀
東京・浅草寺蔵

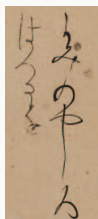
僧侶の模範である聖僧像として中国から伝来したようで、国内外に類品があります



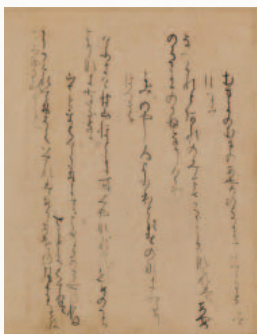
繊細な線が美しい

針切 伝藤原行成筆 平安時代・11～12世紀 高木聖雨氏寄贈

針のように細い墨線のためこの名で呼ばれます。変化に富んだ繊細な線を巧みに操る筆遣いで、現代においても人気の高い古筆切です。もとは『重之子僧集』と『相模集』を書写した2部構成の冊子本でした。本作品は『重之子僧集』から書写していますが、この針切でしか写本が残されていないため国文学上も貴重です。(恵美千鶴子)



(拡大図)



(部分)

2巻そろうのは数百年ぶり！

◎法然上人絵伝 鎌倉時代・14世紀

浄土宗を開いた法然の伝記を描く絵巻です。新たに収蔵品となったこの巻は、讃岐国(香川県)に配流された法然が許しを得て都に帰る場面です。当館にはこれに続く巻がもともと所蔵されていました。法然が臨終を迎え往生する様子を描く巻で、法然の生涯でも重要な事蹟を含む2巻です。本特集とあわせ、本館3室(→8ページ)でもう一方の巻を展示します。(土屋貴裕)



(部分)

特集 令和2年度新収品

平成館企画展示室 10月5日(火)～10月31日(日)

令和2年度に新たに当館の収蔵品に加わった文化財のなかから、主なものを展示します。「文化財の収集」は、当館の最も重要な事業のひとつです。本特集を通じて、その成果と意義をご紹介します。

チベット仏教の貴重な遺品

忿怒尊坐像

中国・チベットまたはネパール 15～16世紀
山西康太氏寄贈

見開いた両目に、扇形に逆立つ髪の毛や、手足に蛇を巻きつけるという異色の姿は、チベット仏教における忿怒尊の特徴です。東アジアの仏教では明王にあたります。うつ伏せの人物を踏みつけ、さらに右手に剣を持ったとみれば、なかでも不動尊である可能性があります。こうしたインドの神々の姿をとり入れた特色のある仏が、チベット等で信仰を集めたのです。(西木政統)



トーハクくん ユリノキちゃん

東京国立博物館
公式キャラクター



Pick up!

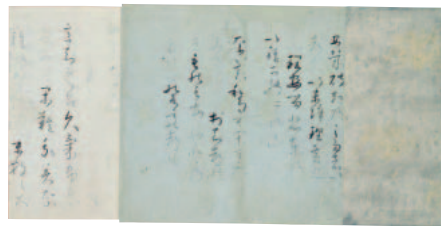
本館

料紙の美と流麗な草仮名

国宝
秋萩帖
あきはぎしやう

11月2日(火)～11月28日(日)

2室 国宝室



●秋萩帖 伝小野道風筆 平安時代・11～12世紀

柔らかい筆遣いの草仮名で、48首の和歌が書写されています。紙背(裏面)の紙のつぎ目には、鎌倉時代には伏見天皇(1265～1317)が花押を記しているため、

天皇愛玩の品だったことがわかります。さまざまな色の染紙を美しく色変わりで継いでおり、2紙目以降の紙背には中国・前漢時代の思想書「淮南子」(中国 唐時代・8世紀写)が書写されています。1紙目の最初の和歌が「安幾破起乃」(あきはぎの)で始まるため、秋萩帖と呼ばれてきました。江戸時代には良寛(1758～1831)も学んだ平安時代の流麗な草仮名です。(恵美千鶴子)

本館

大胆な斜縞と大きな文字が印象的なデザイン

小袖 白綸子地
斜縞歌文字模様
こそで しやうりんずじ さんめじまうもじもよう

8月24日(火)～10月24日(日)

10室 衣装



小袖 白綸子地斜縞歌文字模様
江戸時代・17世紀

晴れやかな元禄文化を伝える絞り染の小袖です。大胆な斜縞は、紅・浅葱・黄色・萌黄のそれぞれの色を絞りにしています。斜縞は貞享期から元禄期にかけて流行し「左巻」と称されました。大きくデザインされた文字模様「峯」「松」「風」は浅葱や紅の鹿の子絞り、小さく散らした草書文字は紅の絹糸と金糸で刺繍しています。元禄期は平安文学が町人にも愛好された時代でした。文字模様は『拾遺和歌集』に掲載された斎宮女御の歌「琴の音に峯の松風かよふらし いづれの緒よりしらべそめけむ」を散らしたものです。琴の音が秋の夜の松風と響き合い、うっとり魅了された時の気持ちを表しています。(小山弓弦葉)

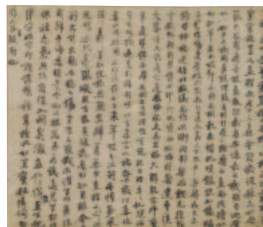
東洋館

墨跡の名品 本格修理後、初公開

国宝
印可状(流れ圓悟)
いんかじやう なが えんご

10月19日(火)～12月5日(日)

8室 中国の絵画・書跡・文人の書斎



●印可状(流れ圓悟)

圓悟克勤筆 中国 北宋時代・宣和6年(1124) 松平直亮氏寄贈

「直指人心」(部分)

さまざまな表情の線をまじえた破格な書きぶり。厳しくもどこか懐の深さが感じられる字姿には、厳格な修行を経て到達した筆者の境地が表れているかのようです。この書は宋時代を代表する禅僧、圓悟克勤(1063～1135)が弟子の虎丘紹隆(1077～1136)に与えた免許皆伝の証です。室町時代16世紀初め頃に、薩摩の坊津海岸に桐の筒に入って流れ着いたとの伝承から、「流れ圓悟」の異名をもち、墨跡の名品として禅林や茶の湯の世界で珍重されてきました。秋の恒例となった特集「中国書画精華」。今年は宋・元時代の墨跡や禅宗絵画など、仏教文化の中で生み出された書画の優品を展示します。(六人部克典)

東洋館

貴族の心をとらえた高麗青磁

青磁象嵌菊花文稜花形杯・托
せいじ ざうがんきつ かもんりやうかがた

通年展示

10室 朝鮮の陶磁



青磁象嵌菊花文稜花形杯・托
朝鮮 高麗時代・13世紀

朝鮮半島における青磁生産は、12世紀ころに開花しました。当時、中国の宋では宮廷の命令で青磁の名窯、汝窯が開かれ、王朝をあげて理想の青色の再現に力が注がれており、その宋から派遣された徐兢という人物が、「翡色(翡翠にたとえた色)」と呼ばれる高麗青磁を見て、美しさに驚いたと記録を残しています(『宣和奉使高麗図経』)。その後、13世紀になると、繊細な象嵌文様を施す朝鮮独自の表現が流行し、貴族たちの心をとらえました。高麗といえはすぐれた金工技術でも知られますが、本作品は貴人好みの金銀器を象嵌青磁で再現した愛らしい酒杯と台のセットです。(三笠景子)

平成館

絵巻でも描かれている弾

てつはう

9月22日(水)～2022年3月21日(月・祝)

考古展示室

文永の役(1274)・弘安の役(1281)、いわゆる蒙古襲来の際に元軍が使用した炸裂弾の本体です。明治時代に鷹島神崎沖から引き揚げられたのち、当館に収蔵されました。近年同地での調査が進み、当館所蔵品の類品が新たに引き揚げられ、当時の文献や絵図にみえる元軍の兵器「てつはう」と判明しました(参考図)。火薬などの中身がなく炸裂する心配ありませんが、本来は中に鉄片や陶器のかげらを詰めるなど、強い威力をもつ兵器であったことがわかっていきます。

(山本亮)

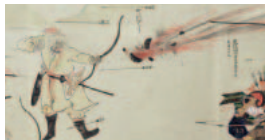


てつはう

鎌倉時代・13世紀
長崎県松浦市
鷹島神崎沖出土
林慶良氏寄贈

参考図

蒙古襲来絵巻(模本)
雅信、雅紹、養福、
養道、会心法印、雅照、
養實模
江戸時代・19世紀
(部分)



法隆寺宝物館

美しい彩色が施された鼓

重文 彩絵鼓胴

10月12日(火)～12月25日(土)

第4室 木・漆工―楽器



◎彩絵鼓胴 奈良時代・8世紀

鼓は、砂時計のようなくびれた形をした胴に皮を張って打ち鳴らす楽器ですが、もともと日本にあった楽器ではなく、中国や朝鮮半島などの外国の音楽とともに伝来した楽器です。法隆寺に伝わった彩絵鼓胴は、全体に宝相華という空想上の華麗な花を彩色で表した鼓の胴であり、内側には法隆寺の東院にあったことを示す墨書があります。環状金具が付いており、ここに紐を通して、首から鼓を下げたと思われるれます。奈良時代の大寺院では法隆寺にも古い楽器が伝わったのです。

(猪熊兼樹)

黒田記念館

画家の心を感じる
デリケートな色調

其日のはて 下絵一

11月7日(日)

黒田記念室



其日のはて 下絵一

黒田清輝筆 大正3年(1914)

日が落ちる寸前、すべてのものが青みがかったバラ色の輝きを帯びる瞬間が、デリケートな色調によって表現されています。井戸と垣根と遠くの野山を描き出す簡略かつ的確な筆致にも、つかの間の美をとらえようとする画家の心が感じられます。

鎌倉材木座の新築の別荘で、月の出を見たことから発想されたという「其日のはて」は、複数の下絵の制作を経てカンヴァスに描かれ、第8回文展に出品されましたが、1923年の関東大震災で焼失したとされます。この下絵は、モノクロ写真のみが残る本画の色合いを想像する手がかりともなるものです。(東京文化財研究所・吉田暁子)

トーハクの調査研究 ⑬

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

秘仏の知られざる構造が
事前調査で明らかに

特別展では、作品の状態を確認し、輸送計画を立てるために、事前に調査や撮影を行います。こうした調査が学術的に重要な発見につながることもよくあります。

特別展「最澄と天台宗のすべて」(↓2ページ)で出品される岐阜・願興寺(蟹葉師)の本尊、薬師如来坐像は、これまで鎌倉時代初頭の制作であるともいわれてきましたが、秘仏であるために、学術的な調査をする機会にめぐまれませんでした。

この度の調査によって、構造に少し変わった部分があることに気づきました。体部は前後にふたつの材を組み合わせて造られています。部分的にわざと支柱状に材を彫り残していました。こうした造像上の工夫とみられる特徴的な仕様は、像の制作年代が平安時代に遡ることを示唆しているように思われます。(皿井舞)



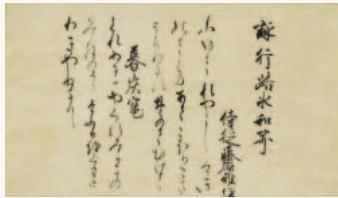
2020年8月、願興寺(蟹葉師)の収蔵庫内での撮影の様子
※調査研究の内容は展覧会図録の解説で詳しく紹介しています。

4

茶の美術

-10/3⑩

あからくつつちやわん 赤楽筒茶碗 久田宗全作
江戸時代・17～18世紀
茶家・久田家三代目の作。
持つと手になじむ緩やかな
削りが施されています

**10/5⑨-11/14⑩**

くまのかいし
◎**熊野懐紙**

飛鳥井雅経筆 鎌倉時代・正治2年(1200)

3-3

 禅と水墨画
— 鎌倉～室町
**-9/26⑩**

かんざんじつとくす
◎**寒山拾得図**

伝周文筆
春屋宗圓賛
室町時代・15世紀
奇抜な言動で知られるふたりの僧侶。墨のにじみと筆のかすれが絶妙です

9/28⑨-11/7⑩

しき かしやうずひやうぶ
◎**四季花鳥図屏風**

伝雪舟等楊筆
室町時代・15世紀



(部分)

5

4

3-3

3-2

3-1

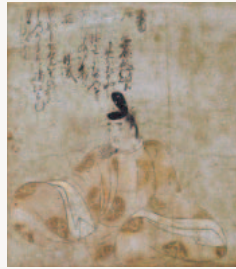
2

1-1

1-2

案内 2階 流れ

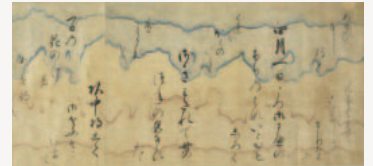
3-2

 宮廷の美術
— 平安～室町
**-9/26⑩**

しだいふ どううたおかせ え ふじわらのとしゆき
時代不同歌合絵 **藤原敏行**

鎌倉～南北朝時代・14世紀 個人蔵

上部に記された和歌が後醍醐天皇筆と伝わる大変珍しい歌仙絵です



(部分)

9/28⑨-11/7⑩

げんじ ものがたりぬきがき
源氏物語抜書

伝尊円親王筆 南北朝時代・14世紀

3-1

 仏教の美術
— 平安～室町
**-9/26⑩**

げんじやうきんぞうぞう
◎**玄奘三蔵像**

鎌倉時代・14世紀
仏典を求めて西域を旅する玄奘を描いた画像です。緻密な描写が見どころです

9/28⑨-11/7⑩

ほうねんしやうにん え だん
◎**法然上人絵伝**

鎌倉時代・14世紀
松永安左工門氏寄贈

臨終の間際に紫雲が立つなど、法然に起こった様々な奇瑞を描きます



(部分)

1-1

 日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳
-12/25⑩

しゃこうき どうぐ
遮光器土偶

縄文時代(晩期)・前1000～前400年
秋田県美郷町 六郷石名館出土



が もんたいぶつじやうきやう
画文帯仏獣鏡

古墳時代・6世紀
岡山県倉敷市 王墓山古墳出土
中国大陸の神仙思想と仏教が融合した図像をもつ鏡です



1-2

 仏教の興隆
— 飛鳥・奈良
-9/26⑩

たんじやうしや かぶつりやうぞう
誕生釈迦仏立像

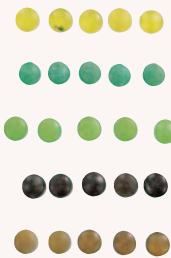
飛鳥時代・7世紀
矢野鶴子氏寄贈
釈迦が出生後に両手で天地を指したという伝説を造形化したものです

**-12/25⑩**

こうふくじ ちんだんぐ
◎**興福寺鎮壇具**

ガラス玉

奈良時代・8世紀
奈良市興福寺中金堂 須弥壇下出土



2

国宝室

10/5⑨-10/31⑩

だんふじわらのみつよしぞう
◎**伝藤原光能像**

鎌倉時代・13世紀
京都・神護寺蔵
伝源頼朝、伝平重盛像とともに伝わった日本肖像画史上の最高傑作です



(部分)

11/2⑨-28⑩

あきはぎしやう
◎**秋萩帖**

伝小野道風筆 平安時代・11～12世紀 (→6ページ)

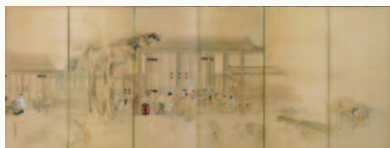
-10/3日**横図屏風**尾形光琳筆 江戸時代・18世紀
岡崎正也氏寄贈

金箔の空間に柔らかな曲線で横の木を描きます。宗達を学んだ光琳の作品です

**10/5日-11/14日****雨宿り図屏風**

英一蝶筆 江戸時代・18世紀

様々な階層の人々がひとつ屋根の下で雨宿りする様子を活写しています



7

屏風と襖絵

— 安土桃山・江戸

9/28日-12/19日**紺系威六枚胴具足**

江戸時代・18世紀 澤木昌子氏寄贈

西洋甲冑の影響を受けたとみられる桃形兜を備えた重厚な具足です

10/5日-12/25日**朱漆金蛙巻大小**

安土桃山時代・16世紀

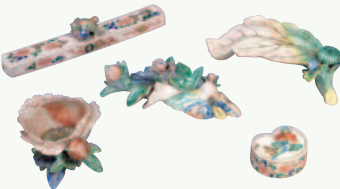


5・6

武士の装い
— 平安〜江戸**-10/3日****松鶴菊蒔絵薬味壺**

江戸時代・17世紀

6つの小壺が梅花形に連結されています。胡椒や山椒などを分けて入れました

**10/5日-12/25日****色絵文房具**

薩摩 江戸時代・19世紀

珍しい薩摩焼の文房具セット。精巧な造形に色絵が華やかです

8-1

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

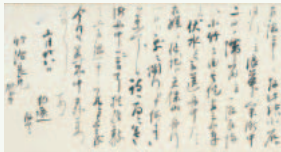
-10/3日**書状**

浦上春琴筆

江戸時代・19世紀

(部分)

江戸時代後期の文人画家・浦上春琴が朋友との船旅の様子を綴った書状です



8-2

書画の展開

— 安土桃山・江戸

10/5日-11/14日**兎桔梗図**俵屋宗達筆 江戸時代・17世紀 川合玉堂氏寄贈
淡墨に包まれて浮かび上がる兎を描きます。宗達が得意とする画題です**-10/24日****能面 猩々**

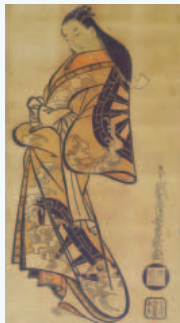
奈良・金春家伝来 室町時代・15〜16世紀

海に棲む酒好きの妖精・猩々は、赤い顔に濡れたような毛描きが特徴的です

**10/26日-12/25日****四天 亀甲雲鶴龍模様**坂東三津江所用 江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈
総刺繍の重厚な繡四天は、勇猛な役や盗賊・妖術使いなどの役に用いられます**浮世絵****-9/26日****立美人図**

懐月堂度繁(かいげつどうはん)筆 江戸時代・18世紀

肥瘦の激しい大胆豪放な立美人図を得意とした懐月堂派による作品です

**10/26日-11/21日****北楼及び演劇図巻**

菱川師宣筆 江戸時代・17世紀

江戸を代表する二大悪所、吉原遊郭と芝居小屋を題材とした作品です



(部分)

衣装**-10/24日****振袖****白綸子地菊雲鳥蝶模様**

江戸〜明治時代・19世紀

裕福な商家の娘の振袖。雲や鳥と蝶の模様には宮廷の雅な世界への憧れが見られます

**10/26日-12/25日****小袖****白茶縮緬地 住吉風景模様**

江戸時代・18世紀

和歌や王朝文学の舞台となった住吉の風景を、繊細な友禅染で表現した優品です



10

浮世絵と衣装
— 江戸

15

歴史の記録

-10/3(日)ちゅうふ
虫譜

江戸時代・17～19世紀写

日本における虫類図巻のさきがけ。
リアルな生態にご注目ください**10/5(火)-11/28(日)**にほんえんかいよちず ちゅうず かんとう
◎日本沿海輿地図(中国) 関東
伊能忠敬作 江戸時代・19世紀

14

特集

9/28(火)-12/19(日)「浅草寺のみほとけ」
(→5ページ)だいいとくみょうおう きぎょうぞう
大威徳明王騎牛像

鎌倉時代・13世紀

東京・浅草寺蔵

6本の脚をもつ異色の
明王像。水牛が立つ点
でも珍しい像ですぼさつざそう
菩薩坐像宗清作 南北朝時代・暦応2年(1339)
東京・浅草寺蔵

13-3

陶磁

-11/7(日)いろえ おうふうもんもつこうがたばち
色絵桜楓文木瓜形鉢仁阿弥道八(1783～1855)作、「道八」印
江戸時代・19世紀「雲錦手」と呼ばれる鉢で、紅葉と
桜がひとつの器に表されます**-12/25(土)**◎巴文大壺
珠洲 平安時代・12世紀 文化庁蔵

13-2

刀剣

-11/7(日)

◎太刀 福岡一文字吉房

鎌倉時代・13世紀

吉房は備前刀福岡一文字派の名工。力強い刀身に華やかな刃文が光ります



◎刀 相州貞宗(名物) 龜甲貞宗

鎌倉～南北朝時代・14世紀 渡邊誠一郎氏寄贈



11

彫刻

-11/14(日)あみだによらいりやうぞう
阿弥陀如来立像

(善光寺式三尊像中尊)

鎌倉時代・文永2年(1265)

長野・善光寺の本尊を模
した阿弥陀三尊像の中尊
が残ったものですさおうごんげんりやうぞう
蔵王権現立像

鎌倉時代・12～13世紀

山中の修行者に信仰さ
れる蔵王権現。躍動的
なポーズが特徴です

12

漆工

-11/21(日)ばいげつまきえ ふんだい
梅月蒔絵文台

室町時代・16世紀

きくらでんくら
◎菊螺鈿鞍

鎌倉時代・13～14世紀

織細で美しい螺鈿の
技法が光ります。その
描線は、わずか1ミ
リメートルに満たな
い細工です

13-1

金工

9/14(火)-11/28(日)こんどうごこれい
金銅五鈎鈴

鎌倉時代・13世紀

振り鳴らした際の鋭い金
属音が眠れる仏心と呼び
覚ますとされますこんどうかつま
金銅羯磨

鎌倉時代・13世紀

案内 1階 展示

本号のトピック

本館1階

総合文化展でも特別展「最澄と天台宗のすべて」
関連展示を開催しています

本館11室 展示期間：～11月14日(日)

本館11室では、平成館の特別展示室で開催される特別展「最澄と天台宗のすべて」(→2ページ)に合わせて、天台宗に関わる彫刻を展示します。平安時代に最澄が天台宗を開宗して以来、日本文化に大きな影響を与えた天台宗の教えは、長い歴史のなかで多くの作品を生み出してきました。本館11室では、天台宗中興の祖と称される慈恵大師坐像(滋賀・金剛輪寺蔵)、もとは比叡山にあったと伝わる不動明王立像(京都・妙法院蔵)、江戸時代に関東での天台宗の拠点とされた寛永寺の釈迦如来坐像などの彫像を通じて、天台宗が各時代、各地域に残した足跡を紹介いたします。特別展と合わせてご覧ください。

(増田政史) 現です



◎不動明王立像

平安時代・10世紀 京都・妙法院蔵
天台宗の本山の比叡山にあったと伝わります。左足の踵(かかと)を上げるのは珍しい表

東洋館地下1階

TNM & TOPPANミュージアムシアター
VR作品『法隆寺 国宝 金堂一聖徳太子のこころ』

2021年10月10日(日)まで

法隆寺の中心である金堂には、太子ゆかりの本尊をはじめ、仏像や壁画によって浄土世界が表され、今日まで大切に守られています。本作品は、実際には入ることができない金堂内のすべてをバーチャルリアリティによって再現。本尊の仏像や壁画を間近にし、聖徳太子がわが国の理想としてここに描いた世界が蘇ります。

料金：一般・大学生・高校生600円、小学生・中学生300円、未就学児、障がい者とその介護者各1名は無料(1作品/1回あたり)、別途入館料が必要です。開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。

※所要時間 約35分です。

〔予告〕VR作品『空海 祈りの形』

10月13日(水)～12月25日(土)(予定)

※演出・スケジュール・定員は、都合により変更となる場合がございます。
※詳細はウェブサイト(<https://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。



柳瀬荘(埼玉県所沢市)

柳瀬荘アート教育プロジェクトのお知らせ

埼玉県所沢市にある当館の施設「柳瀬荘」にて、地域に眠る文化・芸術・自然・建造物から生まれるアートの開拓と地域との対話を企画テーマとした、「柳瀬荘アート教育プロジェクト」を開催します。



このイベントは、当館と日本大学芸術学部の共催により、隔年で開催している秋の恒例行事です。本来は昨年実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて、1年延期して今年開催することになりました。今回の展示テーマは、「柳瀬山荘と彫刻」です。通常は毎週木曜日、外観のみ無料で公開していますが、本イベントでは建物の内部も見学することができます。アートとあわせて「柳瀬荘」をお楽しみいただける機会です。

テーマ：「柳瀬山荘と彫刻」

日程：10月21日(木)～11月28日(日)の木、土、日、祝日(20日間)

時間：10:00～15:00 観覧料：無料

※「柳瀬荘」へのアクセスは当館ウェブサイトにてご確認ください。

9/14(火)-12/5(日)

サバンベ(儀礼用の冠)

樺太アイヌ 19世紀 徳川頼貞氏寄贈
男性が正装の際に被る儀礼用の冠で、顔の前に房を垂らします



つぼ壺

八重山諸島 パナリ焼
第二尚氏時代・17世紀



16

アイヌと琉球



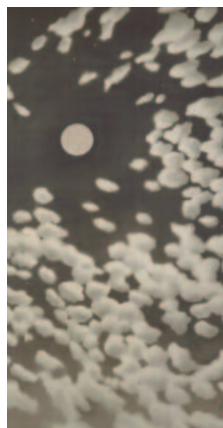
18

9/22(水)-10/31(日)

高秋露月

長野草風筆 大正15年(1926)
笹沼千代子氏寄贈

高天に輝く満月と無数のちぎれ雲が
幻想的な夜空を彩ります



近代の美術

11/2(火)-12/19(日)

游刃有余地

横山大観筆
大正3年(1914)



(左幅)

みどりのライオン



※掲載している催し物は、今後、予告なく変更・中止する場合がございます。最新情報は、当館ウェブサイト等でご確認ください。
また、動画配信については、公開済、公開予定のコンテンツの両方を掲載しています。



お知らせ

ご自宅等でお楽しみいただけるよう、YouTube にて動画を配信しています。



東京国立博物館
YouTubeチャンネル

オンライン

月例講演会

『「トーハクナビ」のつくり方とつかい方』

講師：中村麻友美(教育普及室研究員)

2020年3月末にリニューアルした総合文化展の公式鑑賞ガイドアプリ、「トーハクナビ」の開発までの歩みと、その使い方についてお話しします。



『仏具の庭は花盛り』

講師：清水健(工芸室主任研究員)

仏教の礼拝や儀礼に使用される道具すなわち仏具には、花の意匠が盛んに用いられています。様々なかたちで仏具に咲いた花々をご紹介します。



『「上野の山で動物めぐり」の裏側をめぐる』

講師：神辺知加(デザイン室主任研究員)

上野動物園、国立科学博物館との連携企画「上野の山で動物めぐり」は今年で14回目を迎えました。長寿企画のこれまでの取り組みを振り返ります。



オンライン

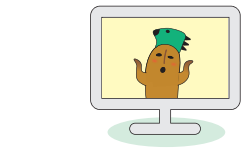
ギャラリートーク

『博物館で動物めぐり』

講師：皿井舞(平常展調整室長)、三笠景子(特別展室主任研究員)、大橋美織(絵画・彫刻室研究員)、山本亮(考古室研究員)

「博物館で動物めぐり」は、特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」(2021年4月13日(火)～6月20日(日))にあわせた関連企画です。動物をモチーフにした選りすぐりの作品を各展示室にちりばめました。

動画では各研究員おすすめの作品をご紹介します。



『名物裂 レンズを通して裂を味わう』

講師：沼沢ゆかり(保存修復室研究員)

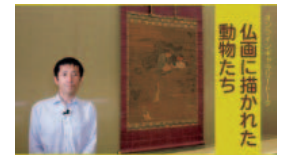
「茶の湯」と深い関わりをもつ「名物裂」。その文様や技法を、肉眼では見えない世界も交えてご紹介します。動画ならではの裂鑑賞をお楽しみください。



『仏画に描かれた動物たち』

講師：沖松健次郎(列品管理課長)

仏や菩薩などを描く仏教絵画の中にも、様々な役割をもった動物たちが登場します。本動画ではこれら仏画の中の動物たちに視点をおいて見ていきます。



『特別企画『スポーツ NIPPON』の見どころ』

講師：青木祐一(秩父宮記念スポーツ博物館学芸員)

木村一貫(秩父宮記念スポーツ博物館学芸員)

新名佐知子(秩父宮記念スポーツ博物館学芸員)

佐藤寛介(貸与特別観覧室・登録室長)

高橋真作(文化財活用センター企画担当研究員)

日本におけるスポーツのあゆみと文化を、当館の美術工芸品と秩父宮記念スポーツ博物館の近現代スポーツ資料を通して紹介する本展(～9月20日(月・祝))の見どころをご案内します。



◎獅子螺鈿鞍 平安～鎌倉時代
12～13世紀 嘉納治五郎氏寄贈

★「トーハクキッズデー」を開催しました★

7月20日(火)～8月1日(日)

毎年恒例の「トーハクキッズデー」。博物館でのイベントに加え、今年はおうちで楽しめる企画もご用意しました。

博物館では、和楽器のコンサートや、みんなのぬりえを貼って完成させる大きな屏風、見学ガイドアプリのタブレット貸出もあって楽しかったほー！

オンラインでは、扇のかたちのぬりえや、子どものためのギャラリートークなど、おうちで安全に楽しめるものがいっぱいあったわよ！





スクール プログラム

「トーハクに行きたい！」
「行けないけれど知りたい！」

という学校の先生や児童・生徒の皆様にご活用いただきたいプログラムです。

オンライン

オンラインプログラムがスタートしました

「東京国立博物館スクールプログラム」は、小学校・中学校・高等学校の皆様が学校の授業で当館を見学する、あるいは博物館や所蔵品について学ぶときの手助けとなるプログラムです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実際に対面して行うこれまでのスクールプログラムは現在休止していますが、この夏から、Zoomを使ったオンラインプログラムを

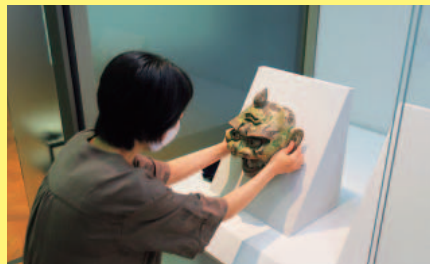
新たにスタートしました。

ご来館前に学校で視聴していただくガイダンスビデオ「はじめての東博」も好評です。

東京国立博物館に行きたい、行けないけれど博物館について知りたい！という学校の先生や児童・生徒の皆様はぜひ、当館のウェブサイトで詳細をご覧くださいご活用ください。



展示室などから臨場感をもって博物館についてご紹介します



作品を展示するとき、どんなことに気をつけているかなど、皆様の疑問にもお答えします



東京国立博物館
スクールプログラム



春夏秋冬 | 乃木坂46

フォーシーズンズ

9月4日(土)～11月28日(日)
表慶館

古来、日本に暮らす人々は、身近な自然への想いを生活の中で育み、和歌や絵などに表現してきました。その世界観は今も昔も変わりはありません。

この展覧会では、春夏秋冬の花が表された7点の日本美術(複製)とともに現代のポップカルチャーをあわせて紹介します。7つの作品と現代を結ぶキーとなるのは、アイドルグループの乃木坂46です。

ここではメンバー一人ひとりが花に見立てられ、彼女たちのパフォーマンスが、映像インスタレーションによって、日本の人々が

花に託した造形の本質を、季節を巡りながら示されていきます。彼女たちが日々、表現している歌詞や世界観が文化財に重ねられていくことで、乃木坂46と日本の文化と、そして私たちが生きる日常／自然とが、地続きの存在であることを実感していただきます。

この展覧会によって、これまで古美術にふれる機会の少なかった方々や、博物館に来たことのない人にも、文化財の魅力を感じていただける大きな機会となるでしょう。(松嶋雅人)



©乃木坂46LLC



なつあきくさず びょうぶ
◎夏秋草図屏風 酒井抱一筆 江戸時代・文政4年(1821)頃
※会場では高精細複製品を展示

観覧料：一般・大学生1,800円、高校生1,000円 ※中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料／※入館は事前予約制
展覧会公式サイト <https://nogizaka-fourseasons.jp/>

【御礼】「冬木小袖」修理プロジェクト 目標金額達成！

「冬木小袖」修理プロジェクトは皆様からのご支援で目標の1,500万円を達成することができました。心より御礼申し上げます。「冬木小袖」は2022年末に本格修理が完了し、2023年には総合文化展で展示を予定しています。修理報告や今後の展示情報などは、文化財活用センターウェブサイトを通じてお伝えしていきます。



修理作業の様子（撮影：凸版印刷株式会社）

「冬木小袖」
修理プロジェクト



ご寄附の受付窓口は2021年末まで継続いたします。頂いたご寄附は、修理を待つ当館蔵の文化財の修理費として活用します。大切な文化財を未来へつなぐために、さらなるご支援をお願いいたします。

臨時休館に伴う会員制度の有効期限延長について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021年4月25日(日)から5月31日(月)にかけて臨時休館したことに伴い、会員制度の有効期限を延長しております。窓口での延長手続きは不要ですので、対象となる会員証および各種無料券を入口等でご提示ください。なお、賛助会につきましては、有効期限の延長は行いませんので、ご了承ください。

【対象】

有効期限 2021年4月25日(日)～2022年5月30日(月)の「友の会」「メンバーズプレミアムパス」「国立博物館メンバーズパス(4館共通)」の会員証をお持ちの方。その他、他館会員制度や、寄附特典等で配布された各種無料券も延長対象となります。

【延長期間】

会員証・総合文化展招待券・
ミュージアムシアター無料観覧券(鑑賞チケット引換券)
→元の有効期限から37日間(臨時休館日数分)延長

特別展観覧券

→元の有効期限から3カ月間延長

※詳しくは当館ウェブサイト「会員制度・寄附・寄贈」をご覧ください。

手ぬぐいをプレゼント

大好評の伊藤若冲自画自刻の「玄圃瑤華」を使用したポスターデザインの手ぬぐいを10名様にプレゼントします。締切は2021年12月10日(金)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※手ぬぐいは1種類のみです。販売はしていません。



〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース9・10・11月号」プレゼント係

休館・閉室情報

12月14日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。

12月26日(日)～2022年1月1日(土・祝)は休館します。

また、展示環境改善等のため、展示室の一部を以下の通り閉室します。

東洋館1階～5階:12月6日(月)～25日(土)

平成館考古展示室:12月24日(金)～25日(土)

浅草寺ライトアップ

本号5ページでもご紹介している浅草寺は、2020年春、雷門の「大提灯」を新調し当館の木下上席研究員監修のもと、ライトアップの照明器具もLED化しました。

大提灯の後ろの「風雷神門」

の文字と「風神像」「雷神像」の照明、「金龍立像」「天龍立像」とあわせ、全体が新しい光で照らされています。夜、鮮やかに浮かび上がる浅草寺にもご注目ください。



トーハクに「ポケふた」が設置されました！

当館正門前にポケモンマンホール「ポケふた」を設置しました。どうやポケモンのヤジロンとせいでうポケモンのドーミラーが描かれたマンホールです。

このポケモンたちによく似た作品が展示室の中にもいるかもしれません。当館に遊びにきたときはぜひ探してみてください。



Music Program TOKYO まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～

都内の文化施設と連携した新進演奏家によるコンサート「Music Program TOKYO まちなかコンサート」を今年も開催します。

日時:10月28日(木)14:00～14:20 / 15:00～15:20

会場:本館大階段

出演者:東京音楽コンクール入賞者による弦楽四重奏(予定)

料金:無料(ただし、当日の入館料が必要)

主催:東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京

お問合せ:

東京文化会館事業係

(TEL:03-3828-2111)

※土・日曜、祝日は除く



2017年の様子

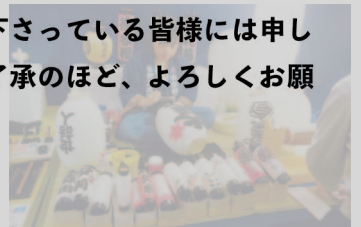
台東区の伝統工芸職人展

平成館ラウンジにて「台東区の伝統工芸職人展」を開催します。日程は11月23日(火・祝)～28日(日)、料金は無料です(ただし、当日の入館料が必要です)。

コロナ感染拡大に伴い、開催中止が決定しました。展示を楽しみにして下さっている皆様には申し訳ありませんが、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

お問合せ:
台東区産業振興課
伝統工芸係

(TEL:03-5246-1131)



2018年の様子

9・10・11月の休館日情報

	9月	10月	11月
休館日	6日、13日、21日、27日	4日、11日、18日、25日	1日、8日、15日、22日、29日

※開館時間、休館日等の最新情報は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

◆東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

- 入館は事前予約制(日時指定券)となります。
[入館可能時間] 9:30～12:30、12:30～16:30、
16:30～20:30(夜間開館実施日のみ)
※滞在時間の制約はありません。

- 障がい者とその介護者1名は無料。
満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日(9月20日〈月・祝〉)、文化の日(11月3日〈水・祝〉)は、
総合文化展のみ観覧無料

詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、
Twitter、Instagram、メールマガジンで！

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>



【ご注意】 2021年4月1日(木)より、賛助会員制度及び会員制度を以下のように改定し、賛助会は名称及び特典、会員制度は年会費及び特典が変更となっております。詳細は当館ウェブサイトやチラシをご確認ください。なお、2021年3月31日(水)までに発行された会員証の特典は、有効期限内に限りご利用いただけます。

◆東京国立博物館賛助会員(寄附会員制度)募集のご案内

東京国立博物館の運営の趣旨にご賛同いただける団体・個人向けの寄附会員制度です。寄附金控除の対象になります。

【主な特典】 特別展内覧会へのご招待 など

【年会費】 〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上、特別会員 100万円(1口)、維持会員 20万円
〈個人〉プラチナ会員 100万円以上、ゴールド会員 20万円、シルバー会員 5万円

【申込方法】 会員受付窓口、ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込
詳細は担当までお問合せください。

◆東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、1年間のうち何度でもご来館いただける会員制度をご用意しております。

友の会

発行から1年間有効 年会費:7,000円

- 【特典】** 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を3枚と、ミュージアムシアター観覧券1枚、ショップ・レストラン割引などさまざまな特典があります。
* 2021年4月以降にお申込みの方で、本誌の郵送をご希望される場合は、別途「東京国立博物館ニュース」の定期購読をお申込みください。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,500円、学生1,200円

【特典】 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能

東京国立博物館ニュース定期購読

年会費:1,000円(1年分)

【特典】 東京国立博物館ニュースを年4回、1年分ご指定の場所に送付いたします。*次号(12-2月号)より送付をご希望の場合、締切は2021年11月10日(水)です。

○申込方法

1. 会員受付窓口

当館正門前の会員受付窓口で即日発行し、当日からご使用いただけます。(現金またはクレジットカード、電子マネー)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替〈振替用紙を送付〉)。

3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生(4館共通のみ))、③メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)、④郵便番号、⑤住所、⑥氏名(ふりがな)、⑦電話番号を通信欄・ご依頼人欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

- 友の会または国立博物館メンバーズパス(4館共通)にお申込みの方で、「東京国立博物館ニュース」の送付をご希望の方は、振替用紙に『東京国立博物館ニュース定期購読希望』とご記入のうえ、各会費に追加料金として1,000円を加えた金額をお振替ください。

- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

- 振替手数料はお客様負担となります。

- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで、2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

○お問合せ

電話 03-3822-1111(代) / FAX 03-3821-9680

総務課渉外開発担当

*月～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

表紙の名品

2021年9月・10月・11月号

こくし べにじ ぼたんりゅうほうおう かちょうしかもんよう
緯絲 紅地牡丹龍鳳凰花鳥鹿文様

9月28日(火)～12月5日(日)

東洋館5室

華やかな草花と縁起物の動物で魅せる、美しい織物の世界



緯絲 紅地牡丹龍鳳凰花鳥鹿文様 中国 元時代・13～14世紀

鮮やかな紅色を背景に、一面に伸びる花唐草と上部には大きな花びらが広がっています。その間には、軽やかに地を駆けまわる鹿、水面をただよう水鳥、そして優雅に飛翔する龍や鳳凰が表されます。華やかな色づかいと楽しげな動物の姿が、見る人の心を躍らせてくれる作品です。

現在は断片となっていますが、左上の大きな花形のモチーフは、もとは8弁の花文様であったと考えられます。この花文様を中央に配した作品であったでしょう。また、瑞獣である龍や鳳凰をはじめ、富や高い身分を象徴する牡丹、長寿を祝う鹿は、吉祥文様として中国で古くより親しまれてきました。鹿や鳳凰のつがいの動物は、夫婦円満を意味します。この作品にも、同様の願いが込められていると考えられます。ポリウムたっぷりに花ひらいた牡丹からは、芳しい香りがただよってくるようです。また、どこかユーモラスな動物の表情も愛らしく、見れば見るほど、魅力あふれる作品です。

「緯絲」という言葉は、あまり聞き慣れないかもしれませんが、これは織りの技法を示しており、日本では綴織にあたります。通常、織物は経糸に対し緯糸を幅いっぱいに入れ、規則的に交差させて織ります。平織はもっともシンプルなもので、経糸と緯糸を交互に浮き沈みさせる技法です。緯絲は、この平織を使いながら、1本の緯糸を端から端まで通さず、文様の



色の境界には「ハツリ」と呼ばれる、糸の隙間が見えます (部分)

色の境目にしたがって折り返しています。つまり、色の変わり目で緯糸をUターンさせ、経糸をくるむように織っているのです。よく見ると、異なる色糸の間には「ハツリ」と呼ばれる隙間が見られます。また、緯糸は非常に密に織りこまれるため、経糸は覆い隠されます。文様にそって、色糸を嵌め込むように織り上げるのが緯絲の特徴です。

中国における緯絲の起源は古く、唐時代にまでさかのぼりますが、南宋時代に大きな発展を遂げました。この作品は、そのあとの時代、13世紀から14世紀頃の元時代に製作されたと考えられます。織物で表された理想郷のような世界を、ぜひお楽しみください。

(沼沢ゆかり)